

平成27年度市政懇談会記録調書

対象地区	那珂湊中学区
日時	平成27年6月28日(日)午前9時30分～午前11時30分
場所	那珂湊コミュニティセンター
参加人数	34名

内容(要旨, 発言, 集約事項等)

事前質問

1. 第一小学校・那珂湊高校の周辺道路計画について (建設部)
2. 避難道路の拡幅について (建設部)
3. 避難道路の整備について (市民生活部)
4. 魚市場周辺の渋滞対策について (経済部)
5. カーブミラーの設置・横断歩道の標示について (市民生活部)

懇談質問

1. 防災上の道路整備について (建設部)
2. 那珂湊一小の道路について (市民生活部)
3. 那珂湊高校裏の道路整備について (建設部)
4. 道路勾配について (建設部)
5. 旧県道の安全対策について (市民生活部)
6. 水道料金の改定について (水道管理者)
7. 観光について (経済部)
8. 支所の跡地利用計画について (総務部)
9. 親水性中央公園の内水対策について (都市整備部)
10. 自治会活動について (市民生活部)
11. 湊大橋の工事進捗について (建設部)
12. 神敷台道路, 船窪地区, 支所跡地利用, 反射炉整備について (市民生活部)

◇事前質問 1（第一小学校・那珂湊高校の周辺道路計画について）

第一小学校周辺は、朝夕の車の通行が多く地元住民が困っている。当地区の道路計画はどうなっているのか。また、災害時に車の避難道路として利用できるよう整備を願いたい。

◇事前質問 2（避難道路の拡幅について）

山ノ上町より小川町への道路拡幅整備要望について（市道湊中部地区 4 3 号線）

■建設部長

津波避難は、徒歩で 30 分以内に避難できることをシミュレーションで確認できております。現在、湊公園へ速やかに避難できるようにめがね橋からと、湊公園東からの避難路整備を進めておりますので、迅速に避難できるよう徒歩での移動をお願いいたします。

また、朝夕の学校の送り迎えによる渋滞におきましても、高台にある学校でありますので、道路環境で周辺の住民の迷惑になっている現状を保護者の方にご理解願ひ、学校下でのお子様の乗降をお願いしたいと考えております。

ご質問の湊第一小学校周辺の道路計画につきましては、現在、この地区全体を考えた道路計画はございません。

当地区の道路整備につきましては、自治会等で皆さんの意見を集約し、必要な生活道路の整備要望として、関係者の同意を得て要望書の提出をしていただきたいと思います。

◇事前質問 1

合併前、約 20 数年前に、旧那珂湊で区画整理をやろうとして、当時の市長や当時の方々が計画をしました。現職の部長でも知っている方もいると思いますが、残念ながら地域の皆さんの一部、それに関連した方でできなかった。この辺は、建設部長はご存知なのですか。

■建設部長

その話は聞いたことがございます。しかし、湊高校の道路につきましては先ほどお答えしましたように住宅が密集しており、新たに道路整備をするのは難しいと考えております。

◇事前質問 1

難しいから諦めるとかではなく、地域住民を説得しながらやっていただきたい。

◇事前質問 3（避難道路の整備について）

湊一小東側門は、階段と一部坂道になっており車は進入禁止となっているが、災害時の湊公園ふれあい館との連絡道として、さらに、車での避難者の避難道として整備願いたい。

■市民生活部長

湊一小東門から道路への階段通路を車が通れるよう整備してほしいとの要望であ

りますが、当該箇所は、児童の登下校や学校関係者の徒歩通路であります。災害時の湊公園ふれあい館との連絡通路として活用したいというお気持ちは理解しますが、地形上通路部は急傾斜地でもあり、車両の通行は難しいものと考えております。

◇事前質問4（魚市場周辺の渋滞対策について）

那珂湊のお魚市場は、近年、テレビや雑誌に紹介され買い物客が増加しており、国営ひたち海浜公園とともに本市における観光スポットとなっている。

しかしながら、お魚市場周辺では買い物客が増加するゴールデンウィーク・お盆・年末の土日の時期に渋滞が発生しており、市民生活に多大な影響を及ぼしている。

そのため、市民生活への影響減少及びより一層の観光振興のため、県営の那珂湊漁港駐車場への進入方法の検討、臨時駐車場の確保など適切な渋滞対策を要望する。

■経済部長

お魚市場周辺の渋滞対策につきましては、市・県・警察署・お魚市場関係者・商工会議所・那珂湊本町通り商店街振興組合などから構成される「那珂湊お魚市場周辺渋滞対策連絡会」を設置し、対策を講じているところであります。

現在の取り組みとしましては、「駐車場不足」の対応として、漁港敷地内の卸売市場に臨時駐車場を確保し、無料でお客様に開放しているほか、ひたちなかインターを降りた車を西十三奉行から神敷台・海岸線を経由する迂回路への誘導について、看板及び横断幕の設置、ホームページでの啓発により行ってまいりました。また、大洗町方面に向うお客様の渋滞原因となっている、チェリー食堂脇の道路区間を通行止めにするなどの対策も行ってまいりました。しかしながら、大幅な渋滞の改善に至っていないのも事実であります。

ご指摘のありました、お魚市場前信号付近からの駐車場への進入方法の改善につきましては、周辺の道路事情と安全性を勘案した結果、現在の進入方法としておりますが、ご意見の重要性に鑑みて「お魚市場周辺渋滞対策協議会」へ報告のうえ、協議させていただきます。また、新たな臨時駐車場につきましては、お客様が重い荷物を持って歩くことを嫌うため、卸売市場の無料臨時駐車場には行かず、お魚市場に近い県営の那珂湊漁港駐車場に停めたがる傾向があります。しかし、今後のお客様の増加に備え、土地の確保について協議させていただきます。

また、今まではひたちなかインターを降りた車を中心に、迂回路への誘導に取り組んでまいりましたが、今後は大洗方面・東海方面・柳沢方面など各方面からの車についても、誘導に努めたいと考えております。

◇事前質問4

ご存知だと思いますが、私は、魚市場前の信号が渋滞の原因だと思っております。那珂湊駅の方から、県営の駐車場に入るまでに警備員がいまして、駐車場の入口から信号のところまで車が詰まるとストップしてしまうので、青でも車が進まないのです。警備員が右や左に誘導していますが、待っていた車は1台2台動けば、あるいはあと

1回信号待ちをすれば進めるのではないかと思って、信号が青でも全然進まないのです。それが、湊駅からの渋滞の原因だと思っています。以前、海洋高校方面から県営駐車場に入るルートがありましたが、震災後はそれがなくなってしまって、迂回する看板も昨年12月に県で撤去しました。その看板を有効利用して前のように迂回すれば、少しは渋滞がなくなるのではと感じています。それ以外に、高速道路から神敷台を通過して海岸道路の迂回は、ホームページ等で見ました。駐車場の設置も物理的な面で大変だと思いますので、信号が青なのにいかないという状況を解消してもらいたいと思います。それから、警察も関係あると思いますが、湊駅から行く信号は大体30秒ですが、平磯から大洗に向かう信号は大体1分あります。手押し信号なので時間に少しずれがありますが、検討をお願いしたいと思います。

■経済部長

魚市場前の信号が、青になっても進まないということで、これについては以前に、魚市場前の信号を左に曲がって、赤澤釣り具店の方から県営駐車場に入るコースがありました。先ほども申し上げたとおり、現在取っている方法が一番安全だということで、警察等と協議している方法ですが、再度、協議をしてみたいと思います。また、信号に行く前に、栄町と相金町、元ボウリング場の信号のところは、道路改良工事をしていまして、9月末には終わると聞いておりますが、その信号からも相金町を通過して、神敷台、海岸線を通って無料駐車場に誘導するというのを強化してみたいと思っています。また、信号の長さについては、ご意見があったということで警察と協議をしてみたいと考えております。

◇事前質問4

駐車場の件ですが、県の駐車場に入るのは黒長商店側とヤマサ水産の水門側と缶詰工場跡地側の3ヶ所から入るようになっていますが、最近、黒長商店側の入り口と缶詰工場跡地側と、出口として水門側のところに自動料金所が設置された訳です。これまでは、従業員10名くらいで、料金を徴収し、誘導して駐車させる流れであったが、自動料金所が投入されたことによって、誘導がなくなってしまったので渋滞が増えてしまうのではないかと、私なりに考えました。市として、渋滞解消の課題について検討しているとのことですが、今後の考えをお聞きしたいと思います。

■経済部長

県営の駐車場の方法については、県の水産振興課で管理をしていますので、ご意見については協議させていただきます。私から、どういった対策ができるのかというのは申し上げられません。ご理解いただきたいと思います。

◇事前質問4

県の管轄だからと傍観しているのではなく、自動料金所が設置されたことによって、車の流れが今までと違うのか、実態を調査してもいいのではないかと思います。

■経済部長

経済部の観光振興課が事務局をやっている渋滞対策連絡会がございますので、実態

を調査した上で、県と協議してまいりたいと考えています。

◇事前質問5（カーブミラーの設置・横断歩道の標示について）

関戸交差点から柳ヶ丘バス停(旧県道38号線)までの区間にある3箇所の丁字路のうち、1箇所に信号機・横断歩道を設置し、2箇所にカーブミラーを設置してほしい。

■市民生活部長

信号機及び横断歩道設置につきましては警察の管轄となりますので、今回ご要望があった箇所については、市で現地を確認し、5月にひたちなか警察署へ設置の申し入れを行いました。

ひたちなか警察署では、現地において通行する車両や道路を利用する人数等の交通量を調査した上で、県警本部へ上申が可能と判断した箇所について上申し、県警本部内の公安委員会において重大事故が発生するような可能性のある緊急性等の高い箇所と判断をされた場合に、「横断歩道の設置及び規制の実施となる」、との回答をいただいております。

カーブミラー設置につきましては、生活安全課で要望を受け付けており、4半期ごとに現地の危険度の調査を行い、危険度合いの高い箇所について道路管理課においてカーブミラーの設置を行っております。

ご要望のありました箇所につきましては、危険度の判定をして設置できるか検討してまいります。

司 会

それでは、これより懇談に入ります。

本懇談会を実り多いものとするために、多くの方よりご発言をいただきたいと思えます。質問やご意見を簡潔に1件ずつお話しただけですと円滑な進行ができるかと思えます。ご意見、ご質問がございましたら、挙手をお願いいたします。

◇懇談質問1（防災上の道路整備について）

湊中央自治会としての現状で一番危機感を持っているのは、先だっの3.11の震災事故で、鹿島神宮や笠間稻荷、当然、那珂湊でも四郎介稲荷の鳥居が倒れています。現在、天満宮の鳥居がもし倒れたとすると、あれは昭和6年に出来た建物ですから、あれが倒れますと、山ノ上は陸の孤島になってしまいます。ですから、防災上、生活上どうしても一本道路が欲しいのです。ですから出来ない理由をあとっぺんお聞かせ下さい。

■建設部長

今のご質問は、栄町に行く道路ですね。道路を整備する場合、道路法令上で基準が定められておまして、最大勾配が12パーセントとなっております。ご要望の道路を調査しましたところ、この勾配が23パーセントということで、基準をオーバーし

ておりますので整備が出来ないというような事でございます。

◇懇談質問 1

勾配が急だから出来ないという事ですね。その他に道路は出来ないのですか。直線でも道路にカーブをつけるなど、そういう工夫は出来ないですか。勾配が急だから今の土木技術で出来ない、ということだけでは納得出来ないのですが。

■建設部長

あの地形を見ると、そのように持っていくスペースがないというような感じなので、ご理解いただければと思います。

◇懇談質問 2（那珂湊一小的の道路について）

那珂湊一小的の道路の件ですが、那珂湊高校と同じように湊公園ふれあい館も、それから那珂湊一小的も、それから那珂湊高校も道路が一本ずつしかありません。ですから、これを複数にして欲しいというのが基本の考え方です。どの道路も一本しかないのです。仮に、那珂湊一小的の東側門の件については、現在、階段があるから、それを自動車が通れるようにしたい。通常は、ポールを立てておいて歩行者専用でよいと思うのです。そうすると、ふれあい館からの連絡路というのが最優先なのですが、今議題に出ている天満宮からと、それから華蔵院側からと、要するに三方向から那珂湊一小的に上がる緊急時の避難道路になるわけです。ですから、20メートル位の道路を整備すればよいのかなという考え方で提案しております。ですから本当に出来ないのかどうか、現在の階段部分をスロープに出来ないのかどうか、是非とも、もう一度回答して下さい。

■市民生活部長

階段部分は避難場所の一部でありますので、避難道路という考え方よりも避難場所の入り口という考え方でお話をさせていただいたところですが、当然、先ほど建設部長の方から栄町の勾配の件でお話がありましたが、やはりこちらについても、傾斜については20度以上あるということで、当然、入り口に当たっての車が通るのには同じように準ずる基準の考えのもと、やはりその辺は難しいということで、全体が道路という事になると、学校敷地はどうかかなど波及してきますので、課題として捉えさせていただきたいと思います。

◇懇談質問 3（那珂湊高校裏の道路整備について）

山ノ上町から小川町への道路に関しまして、今ある道路をそのまま工事すると勾配も凄く急で駄目だということですが、代替案として、那珂湊高校の勝田側の斜面をある程度削らせていただいて、反射炉に上がる道路、要するに湊高校の裏門へ上がる急勾配のところがありますが、あそこの道路の脇の辺りが今回市の方に寄付されて、消防車の車庫になる予定のようですが、ぐるりと回ってそのところに着地するように道路を造るというのは可能性としていかがなのでしょう。

■建設部長

今のご質問は、反射炉脇の階段の脇のところでしょうか。那珂湊高校の裏門の右側のところでしょうか。

◇懇談質問 3

違うような気がするのですが。反射炉の下に登り窯の建物がありますが、その脇の道路です。とにかく那珂湊高校のグラウンドをぐるりと回るように造れば、県の所有地を少しいただくような感じになるかもしれませんが、勾配的には緩く造れば道路が造れるのではないかと期待する次第です。

■建設部長

細い道路ですよ。

◇懇談質問 3

脇はですね。ただその脇の土地が寄付されて、どのように利用するかは色々あるでしょうが、昔、塙納豆屋さんがあったところです。そこが地主さんから寄付されたと聞いておりますから、そこにぐるりと周って着地するようにすれば、どうにか勾配を緩く道路が出来るのではないかと思います。そんなに土木のことは詳しくありませんので、勝手に想像するわけなのですが。

■建設部長

わかりました。今後検討していきたいと思います。

◇懇談質問 4（道路勾配について）

勾配が 20 パーセント以上、これはどこの法律で決まっているのですか。

■建設部長

道路構造令の 20 条に規定しております。

◇懇談質問 4

それは県ですか、市ですか。国土交通省ですか。

■建設部長

国土交通省です。市ではありません。

◇懇談質問 4

国土交通省ですね。ありがとうございました。

法律は人が作るのです、やはりどちらが大事なのか、法は人が作る、部長の話の聞く一番行政の悪い癖です。みんな期待しているのですよ。あの山ノ上だってその通り。出来ない、そういうことではなく、私は今の部長として出来るだけ精一杯やってみますと、一回そのような夢を与えて下さいよ。

◇懇談質問 5（旧県道の安全対策について）

関戸自治会から出したカーブミラーの設置の件ですが、旧県道の交通安全対策でお願いしました。お願いの裏には経緯としまして、県道 38 号線の新柳沢橋が平成 19

年に新しく出来まして、県道から市道に管理が移管されました。今までの県道に対して、柳沢に行くまでに信号が二箇所あるものですから、湊大橋から金上方面に行く車が、信号がある方を通らないで、旧県道を近道として通ります。全体的には以前より交通量は少ないのですが、交通量が少なくなったために、速度違反の車や、大型車が通る現状です。今からでも遅くありませんので、県から市に移った時点で今後どういう状況なるのかと、交通量を含めて安全面はどうなるのか、もっと早く検討していただきたかった。

そのようなことを考えると、近所の年配の方が道路を渡るのに安全面で心配なので、早くなんとか対策をしていただきたい。

■ 市民生活部長

基本的に速度規制については、ご承知のとおり警察となりますが、速度を落とせ等の看板については、市でも対応は考えられるところでありますので、その辺も含めて、警察に要望し、また、市では出来る範囲の中で検討していきたいと考えております。

◇ 懇談質問 5

今のお話につきまして、私も三代前の東警察署長さんの時に、関戸自治会から安全対策の件で要望書を出しております。速度は 40 キロ制限なのですが、それを 30 キロになど安全対策をお願いしたのですが、警察署は受けくれなかった。だから私は警察をあまり信用していません。ですから、ひたちなか市が主体となって地域の安全を守ってくれるということであれば、市が指導出来る立場になって対策をお願いしたいと思います。

◇ 懇談質問 6（水道料金の改定について）

水道料金について伺います。だいぶ安いということで、値上げは当然だと、しかしこの値上げがいつまで続くのだろうか、単年にするという事は考えていないのですか。

■ 水道事業管理者

2 ページの下の方を見ていただきたいのですが、ここで 33 年度から 36 年度にかけて、支出がとて多くなっております。現行の料金では、とても賄いきれないということでご説明申し上げましたが、平成 27 年度以降 10 年間で 48 億円不足するという事で、借金は 30 年かけて返済するものですから、この先もずっと返済していかなければなりません。10 年間では払いきれるというものじゃない、ということもご理解願いたいと思います。一生懸命経営努力は致しますが、職員の人数も 60 人から 40 人に削っております、中々そういった面での合理化は難しい状況にあります。

◇ 懇談質問 7（観光について）

次に観光について伺います。市長から観光の部分を生懸命やりたいとお話がありましたが、これは今回の質問にも該当するのですが、反射炉の塗り替えを実施すると

いうお話は聞いております。旧那珂湊という言い方は悪いのですが、反射炉から夤賓閣にかけての観光というのは考えたことはないのでしょうか。わりに観光客は多いのですが、案内板も無く夤賓閣のほうもありません。あのルートをどこに造るかというのは、市役所が考えるべきことなのではないでしょうか。

■経済部長

只今の質問の、反射炉・夤賓閣ということで具体的な名称が出ましたが、特に那珂湊地区においては、徳川家ゆかりの史跡、名所が沢山ございます。湊公園にあった夤賓閣も研究会が色々と研究をしているということも伺っております。このような観光資源は市の財産でございますので、このような名所を繋げる観光の施策は重要であると考えております。「案内板も少ない」とのご意見をいただきましたので検討していきたいと思っております。

◇懇談質問 7

全体的に考えた場合に、そういうことがあってしかるべきだろうと、そのように考えております。

◇懇談質問 8（支所の跡地利用計画について）

支所が新しくなると聞いているのですが、常設しておく課なども考えた方がいいのではと感じているので、そのような点も検討していただくと大変嬉しいかぎりなので、一つよろしく願います。

◇懇談質問 9（親水性中央公園の内水対策について）

親水性中央公園整備事業がありますが、私の方から内水の対策ということで、平成 23 年度に対策を要望しておりますが、その時の市からの回答が、平成 27 年度を目標に用地買収をして、県と歩調を合わせ、親水性中央公園を整備する回答と記憶しておりますが、その後の実態はどうか、差し支えなければ御教示いただきたいと思っております。

■都市整備部長

親水性中央公園は、勝田地区の昭和通り線、市役所の南側のところでございます。こちらは中丸川の貯水ダムの役割と、それからその土地を利用して大きな公園を造る予定でございます。こちらにつきましては、現在、市の分としての用地取得は 92.7 パーセントになっております。全体で 51,945 m²を取得する予定ですが、今 48,138 m²取得できまして残りが 3,800 m²程になってございます。11 筆程残っているのですが、残念ながら最後の部分の用地取得が難航しておりまして、かなり以前から用地取得は始まったのですが、現在、地価が下がっているということもございまして、対応に苦慮しているところでございます。出来るところから手をつけていかなければなりませんので、親水性中央公園につきましては、平成 28.29 年度には工事等に着手してまいりたいと考えております。

国に申請している補助関係の内容でも、平成 29 年度までとしているところですが、

今と目標を変えるわけにはいきませんので、平成 29 年度を目標に整備を進めたいと考えているところでございます。また、本年度は詳細設計を実施しております。平成 28. 29 年度で工事を行なっていくということでご理解いただきたいと思います。

◇懇談質問 10（自治会活動について）

市長さんからの挨拶の中で、市内の高齢化が進んでいて、自治会活動の維持が出来なくなっているところもある、というようなお話がございました。連合会の方からも、そういう要望が出ているかと思いますが、当自治会でも色々あり、自治会に入ってもメリットがないとか、あるいは高齢になって自治会活動が出来ないという理由で抜ける方が結構おります。特に高齢で一人暮らしの方は、地域の方が色々ネットワークを作って対応していかなければならないのですが、そういう高齢者の方が辞めていらっしゃると思います。そういう対応として、市の方でも色々考えてくれているかとは思いますが、現実的なメリットが見えないので、私個人の考えなのですが、たとえば今日、水道の料金が上がるという話がありましたが、自治会加入者は水道料金の基本料金を 50 円安くするなど、そういう具体的な見えるようなかたちで、自治会に入っている人はこのようなメリットがありますよと、そうすると我々もこのようなメリットがあるから入って下さいと言えます。実際に金額で示すことも出来ますし、入れば社会福祉協議会や日赤の寄付金も集めやすくなりますし、敬老会にも是非来て下さいと言えます。是非、そういう面を市の中で検討いただければと思います。私の要望として申し上げましたので、考えていただければと思います。

◇懇談質問 11（湊大橋の工事進捗について）

今湊大橋が工事中ですが、国や県の管轄とは思いますが、わかるのであれば工事の進捗状況と、いつ頃通行が可能になるのかお聞かせ下さい。

■建設部長

湊大橋の四車線化につきましては、現在二車線が完成しておりまして、残り二車線に関しまして橋脚の撤去工事を実施中でありまして、撤去終了後、二車線の橋を架けていく予定であると伺っております。完成時期については公表しておりませんが、水戸土木事務所によりますと、平成 32 年度の完了を目指していると伺っております。

◇懇談質問 12（神敷台道路、船窪地区、支所跡地利用、反射炉整備について）

まず、神敷台道路について伺います。三小に向かって、旧清掃センターに入る交差点の信号設置ですが、昨年の市政懇談会でも質問いたしました。その時は、検討しますという回答をいただきましたが、その後の検討結果をいただいております。

■市民生活部長

昨年度のご要望ということで、この交差点の信号設置につきましては、警察署の管轄ということでありまして、申し入れを行ったところでありますが、警察の方では平成

27 年度については、県警本部への上申は見送られた。ということ聞きまして、なんとしても設置してほしいということで再度申し入れをしたところ。その後、ひたちなか警察署からの回答は、平成 28 年度に警察署から県警へ上申をしていくということでございます。

◇懇談質問 12

信号が難しければ、太陽光熱を利用して何か検討できないかと言いましたよね。信号設置が難しければ、点滅するものを設置して下さい。

それと、船窪についてですが、去年の暮れから年明けにかけて雑草を刈っていただきありがとうございました。今から 70 数年前、ここにいらっしゃる何人かの人はわかっているとは思いますが、那珂湊の大火がありました。タバコのポイ捨てなどされたら、ぞっとします。

また、支所の跡地には、3.11 大震災の経験も踏まえて、避難所や子どもからお年寄りまでもが知識を身につける施設を造っていただきたいと思います。

最後に反射炉についてであります。蕪山が世界遺産になりました。あのテレビを見ていて、湊には反射炉があるから紹介されるのかなと思いましたが、湊やひたちなかの名前はどこにも出ませんでした。残念でした。少なくとも先ほどから話に上がっているように、よく現場や現地を見て、魚市場への誘導看板や山ノ上地区の道路整備などをしていただきたい。このままでは旧湊が衰退してしまいます。期待しておりますので、もっと熱意をもって観光史跡に力を入れていただきたいと思います。

司 会

最後に、懇談のまとめを市長より申し上げます。

■市 長

貴重な時間をいただきまして本当にありがとうございました。

かなりきめ細かな、身近なところのご要望やご提案が非常に多かったと思うわけがありますけれど、先程お話にもありましたが、現場や現地をよく見て、また、皆さま方と相談をさせていただき知恵を出しながら対応を考えていくという事が大切だと思います。これまでに道が無かった、出来なかった、これは皆さまも理由はわかっていると思いますが、その上でどうにかならないか、というご提案だと思いますから、そういう意味で色々な工夫をするなり、皆さま方のご協力もかなりいただかないといけないと思いますけれど、青写真や将来の姿を少し描いていければ、皆さま方にとっても我々にとっても非常に意味のある姿が描けるのではないかなと、私はそのように聞かせていただいて感じたところです。

お魚市場周辺の渋滞問題については、冒頭で申し上げましたが、駐車場の確保や道路の進入方法の改善等まだまだ図る余地はあるかと思います。それと、車だけではどうしてもこのようなこととなりますので、なるべく湊線に乗っていただくとか、公共

交通のバスを利用していただくとか、そのためにはどこかに乗り換えのための拠点を造るとか、そういうことも非常に大切なことではないかなと思っておりますので、こういうことならば、ということも、こちらのほうで検討していく中でご意見もいただければと思っております。これは本当に喫緊の課題でもありますし、多くのお客さんに来ていただくという姿勢の中でちゃんと受け入れが出来ているかどうかということでもあります。

また、反射炉や湊公園の夤賓閣跡など大切な意味のある史跡等が多いわけでありますから、それらを結ぶ観光のルートの整備や案内を行なっていくのも非常に重要なことだと思っております。

最初の予算説明の中に、湊支所の建替えをする予算説明をさせていただきましたが、あの建物は耐震上もたないので建替えますが、先程も若干ご提案がありました。たとえばここで歴史的史跡資料を展示することや震災の経験を伝えていくための展示コーナーを設けるなど、その他にも実際に防災機能上の市の役割として、ここに何を強化すればよいかについてももしっかり検討したいと思います。ですから建替えに当たっては、皆さまにご意見を聞かさせていただきますので、具体的なご提案をいただきたいと思っております。

尚、教育委員会が市役所の裏に移動しましたが、私が是非移動しろと言ったからです。支所のあの庁舎はもちませんし、いま教育委員会と市長部局で密接に関連しております。法律も変わり私も総合教育会議を主催しなければいけなくなりましたし、そういう意味で連携を図る、離れたから目が行き届かないというのはあってはならない。これはまた別の問題だと思っておりますけども、是非その点についてもご理解をいただきたいと思っております。

避難路の防災に対しての問題についても、ここは非常に重要な地点でありますので、着実に計画を立てて進めていきたいと思っておりますし、中丸川の上流の親水性公園につきましても、本当に長年の懸案になっております。つい先日も、元自治会長さん数人とお話をすることがありまして、そろそろやったほうがいいのかと話が出まして。今までは、あそこで農業を続けたいとか、地価下がってこの地価ではという声もかなりあったのも事実であります。最後の詰めの段階であります。非常に下流に負荷の大きい状況になってきておりますので、これはちゃんとやらなければいけないタイミングにきていると思っております。ここで申し上げるのは皆さんにとってはちょっとお聞き苦しいかも知れませんが、上流部にたくさん家が建ちまして、大島、高場雨水幹線を整備しました。本当は、下流の河川整備をしっかりとやらなければいけないのですが、住宅地に雨が降ったら道路が冠水し、川のようになるという状況をなんとか解消するために、集めて下流へ流すという事業を取り急ぎ実施しました。決してこれで十分とは思っておりませんが、大川や中丸川の河川改修については、急いで実施しなければならないと思っております。大川については市がやっております、中丸川については県ですが、市だとか県だとか言っている場合ではありませんので、スケ

ジュールをしっかり立ててやらないと、ひたちなか市の治水そのものを問われる状況だと思っております。

あと一点だけ申し上げさせていただきますけれど、魚市場の渋滞の関連で公共交通のお話もさせていただきましたが、湊線もおかげさまで、多くの自治会長さんにも応援団のメンバーになっていただいておりますけれど、平成26年度の乗降客が93万になり、廃線の当時は60万人そこそこになる見込みでしたが、今は90万人の利用客があり、30万人それだけ差があるというか盛り返しているというふうに思いますし、高田の鉄橋駅もああいうかたちで52年ぶりに出来たというのも中々凄い鉄道だと思います。吉田社長を始め、湊線の応援団の方々も全国に呼ばれて、どうしたらこんな鉄道がもつのだとか、頑張れるのかなど公演もしたりしているようですから、地元にいるよりも外の方で有名という可能性もあるっていうことを皆さまの頭の中に入れておいていただきたい。そうしますと、延長するとか言っている地方ローカル鉄道は、まず例が無いです。ですから、どんな支援や補助を引き出すかというのも突破口みたいな所がありまして、是非、皆さま方にご支援もいただきたいと思っておりますし、ひたちなか地区の土地利用問題と密接に関わっています。阿字ヶ浦の区画整理の中をどのルートにして、そして国営公園、それから先のファッションクルーズやコストコあたりと言っているかどうか、その辺も検討状況ですが、あそこにたとえば駅を造るとすればターミナルをどうするかとか、そういうことも当然関わってきますから、国営公園周辺の国有地や県有地の利活用についても、国から、市でしっかり考えてやれと言われていています。国に売るのを待ったと言っている手前、どのように使うのだということのを重いものとして我々は受け止めているわけでありましてけれども、今40町歩近くを無償で去年から借り受けをしております、ネモフィラとか、これからコキアの季節ですけれども駐車場が足りませんので、一部碎石を敷いて駐車場にしています。そして真ん中のあたりは、多目的広場としてスポーツ等に活用していただきたいと思っておりますけれど、あそこに物作りの関係の大学を誘致したらどうかとか、道の駅をあそこに造ったらどうかなど、その様な意見もありまして、それは245号線の方がよいのではとか色々出てくるのではないかと思いますし、そういう土地活用についても、真剣に検討して国に対しても提案をしていく。とにかく、国や県には売るだけではしょうがないでしょうと、はっきり言って文句つけているわけですから、あれは返還財産として非常に重要なものなので、そういう活用を是非図っていきたいと思っております。これからも皆さま方には、いろんなご提案や知恵をいただきながら、この、ひたちなか市の人口をなんとか維持し、そして増やし色々な人に来ていただいて、様々な商売や事業の展開にも繋がるというような、まちづくりをしていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思っております。

毎回申し上げますけれども今日だけが市政懇談会とは思っているわけではありませぬので、この二時間だけが終われば、枕高くして今晚から寝られると思っております。部長はいないと思っております。そういう意味で、これが終わってからも結構ですし、

明日からでも結構ですから、お気づきになった点、また、こんなこと考えたのでどうだ等、是非、市の方にお伝えいただきたいと思います。いつもこんな終わり方をして申し訳ないのですが、正直そういうものだなと思っております。一年1回、ある意味での緊張感やこの地域の実情について体感させていただいた二時間だったような気がします。皆さま方のご協力に心から感謝申し上げさせていただいて、締めとさせていただきます。本当にどうもありがとうございました。